

令和6年度 大分市民公開講座(12/8) 開催報告

【当日の様子と参加者の声】

1)特別講演 聴講者 261名

- ①トークセッション「本人らしく生きる」を支える在宅ケア
- ②「笑顔でいこう！」

講師 お笑いタレント 山田邦子さん



参加者アンケートより感想(抜粋)

- 在宅医療は大変だと思っていました。しかし、本人が本人らしく生き抜いて、この世を去ることの大切さを感じました。
- 要介護5の母を在宅介護しています。今日の講演会でとても励まされ、力をいただきました。山田邦子さん、素晴らしかったです！
- 在宅医療が死に向かうだけの待つ時間ではないことがよくわかった。
- 連携というコトバだけでは語りつくせない事例を知りました。その人らしく…私もありたいです。



2)認知症世界の歩き方 参加者 94名

「認知症世界の歩き方」ワークショップ/認知症希望大使による発信



参加者アンケートより感想(抜粋)

- 認知症の人が見ている世界観についてわかった気がします。ピアサポーターの方達の話聞いて、改めてできることがあることを知りました。
- 認知症に関心のある方たちと話せてよかった。
- 認知症の方の話直接聞いてよかったです。前向きな明るい生き方で不安がなくなりました。ワークショップに参加されていた年齢の方々が前向きで、勉強になりました。



3)相談・展示・体験ブース 来訪者延べ 600 名以上

大分市保健所健康課/大分県栄養士会/大分大学総合診療サークル OICOS/大分市薬剤師会・坂ノ市薬剤師会

地域包括支援センター/大分市歯科医療関係協議会/大分県歯科衛生士会/中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター



ブースで受けた相談内容(抜粋)

- 母を介護している。血圧が低いのに薬を飲まないといけないのか？
- 1人暮らしで、息子は東京在住。介護保険の認定をどうしようかと思っている。今後何かあった時にために心配。
- 夫が手術を行い、在宅復帰を強く希望している。病院で医療処置の指導を受けているが、在宅介護に自信がない。
- 家族が要介護1で介護している。介護サービスを利用しているが、足が立たなくなってきた。
自分も仕事をしており、だんだん限界を感じてきている。